

びわ湖芸術文化財団「地域創造部」と「文化産業交流会館」からの情報をお伝えする「えいじやに」。今回は、文化産業交流会館の開館30周年記念事業として7月22日(日)に芝居小屋「長栄座」で開催される、「ゆかたで楽しむ伝統芸能～古典芸能とアートの祭典～」の出演者と裏方スタッフにお話を聞きました。

“守られるべき文化”という位置の上に胡坐をかくのではなく、色々な視線から楽しめるような企画を考えていきたい——

日本舞踊家 **音羽 菊寿寿さん**



Profile / 音羽 菊寿寿(おとわ きくすず)

滋賀県大津市生まれ。音羽流教授取得後、母、初代菊寿を継承、二代菊寿を襲名。公益社団法人日本舞踊協会関西支部に所属。音羽流滋賀舞研究会総師・滋賀舞連盟代表・京都市芸術文化協会評議員を務めている。



平成28年度長栄座公演より

総合舞台芸術である日本舞踊

日本舞踊は、正直、広く一般に浸透しているとは言いきれません。ただ、能、狂言、歌舞伎、民謡など、あらゆるものからの総合舞台芸術である日本舞踊には、たくさんの魅力が詰まっています。日本舞踊では、いうまでもなく時代考証があり、タイムスリップをした世界が観られます。歴史に基づいたもの、それらを背景にした空想作品、古語であるため現代語と比べてわかりにくいといった一面もありますが、逆に言葉の意味を掘り下げることにより、観る人の感性で、より

面白く過ごすためには、やはり、“ワクワク”

平成27年度に、文化産業交流会館小劇場で「和く和く古典～日本舞踊における舞台演出のしかけ～」を企画しました。知られざる舞台裏の一部を種明かしすることで、日本舞踊に触れたことのない方にも興味を持っていただけるよう工夫しました。その他にも、日本舞踊に関心をもっていただけるような新しい取り組みについて、日々考えています。

やはり課題は、何と云っても若年層へのアピールですね。どんなに生活がスピード化されても一つの技術を確立させて、面白く思うところまで達するには長い年月がかかります。その長い間の修養を面白く過ごすためには、やはり、“ワクワク”です。始まりは何でもいい。興味を惹くこと、参加してみたいくなるような企画を考案していくこと、

深い物語の面白さを知ることができます。

何より登場人物がはっきりした個性を持ち、実際の衣裳を着けているものに関しては、一見して単純に何者なのかかわかります。演じる側にとっては、衣裳さえつけば実際の年齢を問わず、男、女、幼、若、老、獣、妖怪etc…あらゆるものに変身することができます。また、普段の着姿や半素と呼ばれる舞台形式で演じる場合は、いかにその人物や情景を自分の技量で表現するかという醍醐味を味わえるのです。

それが従事している者の責務だと思っています。

よく外国の方に、日本にはこんなに素晴らしい文化があるのにそれを知らない人が多い、と言われますが、我々従事する人間にもその敷居を高くしてしまう要因があるのかもしれない。“守られるべき文化”という位置の上に胡坐をかくのではなく、色々な視線から楽しめるような企画を考えていきたいですね。我々が思いつかないような企画があれば、ぜひ、ご意見をお寄せいただきたいです。

芝居小屋「長栄座」では、唯一滋賀で芝居小屋を体感できる劇場として、今回の公演のような広い範囲の県民参加の企画をして欲しいです。特に若い世代を活用し、舞台の面白さを演者としても、観客としても楽しめる企画を期待しています。



長栄座

演目 創作舞踊「湖」～滋賀を舞うの見どころ

「湖(うみ)」は、“母なる湖・びわ湖”を題材に、四季折々のびわ湖の情景を、滋賀に纏わる物語や独自のキャラクターを登場人物として、美しく、ユーモラスに、また、勇壮に表現した音羽流滋賀舞研究会のオリジナル創作曲です。

「山路来て 何やらゆかし 菫草」は芭蕉が近江路に

足を踏み入れた折に読んだとされる句です。“何やらゆかし”これこそが滋賀、近江の印象だと思います。はっきりとした色合いではなくパステル調の穏やかな色、そして、流れるままにその情景を思い浮かべ、心のままに楽しんでいただける作品だと思います。

顔師の魅力 顔師 城間 里美さん

顔師は、「夢」を見させてあげられる仕事だと思っています。以前、90歳の女性が、日本舞踊「禿」になり、喜んで涙を流されたことをよく覚えています。また、なりたい役になれて感動され、ご家族の方が大喜びされたこともありました。そういったところに、私は顔師の魅力を感じています。



Profile / 城間里美(しろまさとみ)

奥山恵介氏に師事。幼少の頃より「琉球舞踊」を習い、24歳頃より京都に在住し、奥山氏と出会い入門し、白塗り化粧を勉強するかわら、映画・オペラ・日本舞踊の世界で活動中。

ゆかたで楽しむ伝統芸能～古典芸能とアートの祭典～
お化粧体験教室(日本舞踊)に参加される方へ

古典芸能は、奥の深いすばらしい文化です。日本文化として続けてほしいと願っています。芝居小屋「長栄座」にも、今後の米原に「長栄座」あり!!といわれるようないるる公演を期待しています。今回のお化粧体験教室でも、ぜひ日本文化のすばらしさを体験していただき、芸能文化に触れていただき、新しい体験をしてほしいです。

顔師とは?……日本舞踊の踊り手に化粧をする人。

開館30周年記念事業

会場 イベントホール内特設舞台「長栄座」

文化産業交流会館は、おかげさまで開館30周年を迎えます。これを記念して、芝居小屋「長栄座」で歌舞伎などの伝統芸能公演を開催します。

松竹大歌舞伎 おかげさまでチケットは完売しました。ありがとうございました。

日時 7月21日(土) 14:00開演

ゆかたで楽しむ伝統芸能～古典芸能とアートの祭典～ 入場無料 要整理券

江戸時代の雰囲気を感じさせる芝居小屋「長栄座」の舞台では、舞踊と箏演奏を披露します。

また、子どものための日本舞踊お化粧・着付体験教室や、びわこ文化センターから20種類のカルチャー教室の一日体験コーナーも開設!スイーツ、駄菓子屋などロビーに出店する飲食コーナーもあり、子どもから大人まで気軽にお楽しみいただけます。

日時 7月22日(日) 14:00開演(ただし、周辺企画は午前中より開催)

出演 花柳緑春奈、若柳吉一保、金乃梨子、西川みゆき、藤間勘翠香、音羽流滋賀舞研究会、古典芸能キッズWSジュニアコース(箏・日本舞踊) ほか

演目(予定) あやめ浴衣～越後獅子、創作舞踊「湖」、近江天秤、鈴の舞、東明流「此君」 ほか

整理券配布所 滋賀県立文化産業交流会館

体験コーナー 大津緑の藤娘メイク&衣裳に挑戦!「長栄座」舞台で記念写真撮影タイムあり。

- ①お化粧体験教室 解説・指導 城間里美(顔師)
- ②衣裳の着付体験教室 解説・指導 阿部慎司(着付師)



平成25年度キッズワークショップ発表会より

その他の開館30周年記念事業

7/28(土)	工藤静香 Acoustic Live Tour 2018	イベントホール	チケット発売中
8/18(土)	サンクトペテルブルグ国立舞台サーカス	イベントホール	チケット発売中
10/20(土)	藤井フミヤ 35th Anniversary Tour 2018	イベントホール	
12/22(土)・23(日)	滋賀県次世代育成ユースシアター事業	小劇場	
1/19(土)	「至芸」～相伝の美学～	芝居小屋「長栄座」	
1/20(日)	湖国にて～歌と和楽器の出逢いの刻～(仮)	芝居小屋「長栄座」	
1/27(日)	フィールドアート Media Mix 2019	イベントホール	※詳細はHP(http://www.s-bunsan.jp/)をご覧ください。

COLUMN

ニットキャップシアター ごまのはえ 公演に向けて

今年も滋賀でお芝居をつくることになりました。場所はいつもの滋賀県立文化産業交流会館。時期は12月の末です。公演の約束をするたびいつも少しだけ不安になります。約束した日時にちゃんとその場にいらるかという不安です。人生なにおこるかわかりません。これから12月まで同じように過ごしている保証はどこにもありません。演劇にかぎらず約束って怖いんですね。よく「約束を守るのは人として最低限のこと」なんて言い方する人がいますが、厳しすぎます。約束さえ守れたら最低どころか上々です。私たちは公演初日に、公演祝いというのを頂きます。まさに公演は祝い事。皆で一緒に約束を守れたことをお祝いするのです。もうじき参加者募集がはじまります。一緒ががんばりましょう。



昨年の様子

<情報> 12月22日(土)・23日(日)に、今年も文化産業交流会館で県民参加による演劇公演を開催します。今回も脚本と演出にごまのはえさんを迎え、地元演劇関係者とともに舞台を制作します。9月から本格的に稽古がはじまります。本番に向けて、メンバー一同、力をいれて稽古に取り組んでいきます。

EVENT

中嶋俊晴・野村祐子デュオリサイタル —歌が聴こえる風景—

日時 8月11日(土・祝) 14:00開演 会場 小劇場
入場料 一般 2,500円 25歳以下 1,500円 [全席自由] チケット発売中
曲目 谷川賢作/谷川俊太郎 さよなら ほほえみ 夜はやさしい、寺嶋陸也/茨木のり子 歌曲集《道しるべ》より ほか

現代に生きる作曲家たちの、ふとした瞬間に口ずさみたくくなるような、素朴で温かな作品をカウターテナーとピアノの演奏でお届けします。



中嶋俊晴 野村祐子